

# 8月講座報告

## 持続可能な地域と学びづくり

### ～「共に生きる」人権学習講座3回目～

今回の人権学習講座ではSDGs(持続可能な開発目標)について学びました。最近よく耳にするSDGsですが、国連に加盟するすべての国が取り組むべき共通目標として、17のゴールが設定されています。「誰ひとり取り残さない」との理念のもとに一人ひとりがゴールを目指し取り組むことで、持続可能な社会に繋がって行くことを講師の市社会同和教育指導員大島信行先生から教えてもらいました。

地球は、先祖から受け継いだというより、次の世代からの預かり物であると考えることが大切だと感じました。



## 佐賀城の歴史・甦れ、佐賀城本丸御殿

### ～思斉館大学4回目～

思斉館大学4回目では、佐賀県立佐賀城本丸歴史館学芸員の増田研亮先生を講師に招き、佐賀城本丸御殿にまつわる歴史や復元の状況について御教授いただきました。佐賀城本丸歴史館のパンフレットに書かれている「その時、日本は佐賀を見ていた。佐賀は世界を見ていた。」という言葉のとおり、佐賀藩が長崎の警備をしていたことで、海外の技術・文化などを目の当たりにし、他の藩よりも先に先進的な技術を積極的に取り入れていたことを学びました。また、本丸御殿の復元をしていく過程で、「佐賀城御本丸差図」に描かれていない遺構が見つかるなど、新たな発見があったことを知りました。



## 激甚化する気象災害から身を守るために

### ～思斉の郷「久保田塾」5回目～

8月28日(金)の5回目の講座では、気象災害について学びました。

講師の久保田町在住で、昨年度まで佐賀地方気象台の台長を務められた溝上良雄先生から、近年、被害の大きかった平成3年台風第19号や職員として現地調査を行った平成16年の佐賀市での竜巻の状況、集中豪雨の特徴などを分かりやすく説明してもらいました。このような気象災害から身を守るためには、自然災害を知り、災害情報を知り、災害の危険と身を守る方法を知ることが必要だと学びました。参加者も「久保田でも線状降水帯が発生することがあるのか。」など、熱心に質問していました。

最近の災害では、これまでの経験が通用しなくなっており、集中豪雨が発生すると対応できる時間に余裕がない状況にあり、ハザードマップで危険区域を調べたり、避難場所・経路を事前に調べておくなど、日頃から災害に備えることが身を守ることに繋がると感じました。



## 性の多様性を知っていますか？

性的指向  
好きになる相手の性別

性自認  
自分の性別の考え方

**L**

L=レズビアン  
(Lesbian)  
同性を好きになる女性

**G**

G=ゲイ  
(Gay)  
同性を好きになる男性

**B**

B=バイセクシュアル  
(Bisexual)  
異性を好きになることもあれば同性を好きになることもある人

**T**

T=トランスジェンダー  
(Transgender)  
出生時に割り当てられた性別とは異なる性別を生きる人(性同一性障がい者を含む)

LGBTとは、上記のそれぞれの頭文字をまとめたもので、性的マイノリティ(性的少数者)の総称の一つとして使われています。

このほかにも、アセクシュアル(他人に恋愛感情を抱かない人・無性愛者)、クエスチョニング(性自認や性的指向が明確ではなく揺れ動いている人)など、様々な人がいます。

これらは、個人の趣味や一過性のものでなく、本人の意思で変えられるものではありません。

2015年「電通ダイバーシティ・ラボ」が全国約7万人を対象に行った調査によると、7.6%の人がLGBTであるという回答結果でした。

これは決して少ない数字ではなく、私たちの身近な存在であることを現しています。